

# 理事長あいさつ

## ■ シルバー人材センター法制化30周年を迎えて

理事長 川野武豊



新年明けましておめでとうございます。本年も会員およびご家族の皆さまのご健康とご多幸を願っています。昨年11月にはトランプ氏が次期米大統領に当選を果たし、予想外の結果に世界中で物議を醸しました。

これからは英国のEU離脱に見られるように、グローバル化社会から内向きの社会へと向かうのではないかと心配されるところですが、これからの日本にとってプラスとなるか、マイナスとなるか？は、今後の我が国の外交手腕に期待したいものです。

平成29年は当センターが発足して15年目を迎えます。平成27年度末までを振り返りますと、契約金額は1億5294万円で発足年度の5087万円の3倍となり、会員数も327人で発足年度の254人に比べ1.3倍となりました。

激動しているシルバー業界において、全国のシルバー人材センターが低迷を続けている中での事業業績としては、十分に評価できる結果だと思えます。

これはひとえに精華町行政をはじめ関係各位からいただいたご支援のたまものと感謝しています。

これからも引き続き、地域社会・地域住民に必要とされ、信頼されるセンターを目指し、会員および事務局職員のスキルアップを図りながら全員で力を合わせて事業運営にあたります。

さて平成28年度は、全国のシルバー人材センター法制化30周年（1986年～2016年）を迎え、全国シルバー人材センター事業協会で「法制化30周年記念行事」が行われます。全国のシルバー人材センター1282法人を対象に優良シルバー人材センターの表彰が企画され、京都府内シルバー人材センター21法人の中から同府連推薦による「優良シルバー人材センター」として当センターが、また「長期就任理事長」としてもほかの4法人とともに当センターが選ばれ、6月に開かれる平成29年度同協会の総会において授賞式が行われることになりました。

当センターが京都府を代表して表彰されるということはたいへん名誉なことで、これまで当センターをご支援いただいた精華町行政、各種企業・団体、地域住民各位はもとより、誠実に業務を遂行してきていただいたセンターの会員および役職員に対して重ねて厚くお礼を申し上げます。

平成29年度の当センターの目標として、今回のこの栄誉を背に新たなキャッチフレーズ「生きがいと地域のニーズを結びます」を掲げ、安全就業・就業拡大・会員拡大をベースとして、子育て支援や高齢者の日常生活支援などの福祉関連事業に力を注ぎ、地域のニーズに応えられる事業運営を図っていきたくと思っています。会員をはじめ関係各位の絶大なるご支援とご協力をお願いいたします。

# 新年のあいさつ

専務理事	監事	監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	副理事長	理事長	
事務局長	和所正樹	廣利勝行	木村光雄	森島秀行	長谷川悟	田中原修彦	篠藤光子	齋藤光子	音羽良幸	岩前美代	井上美勝	眞島武豊	川野武豊

明けましておめでとうございます

